

## 梶原 洋子 教授 略歴・主要業績

### 【略歴・職歴等】

1966年3月 東京学芸大学学芸学部保健体育科 卒業  
1967年3月 東京学芸大学学芸学部専攻科 修了  
1967年4月 目白学園女子短期大学（現目白大学）助手  
1968年4月 目白学園女子短期大学 専任講師  
1970年4月 文教大学（旧立正女子大学）教育学部 専任講師  
1975年4月 文教大学教育学部 助教授  
1990年4月 文教大学教育学部 教授  
2003年10月 学位博士（医学：昭和大学乙第2279号）取得  
2005年4月 昭和大学医学部第二生理学教室（現生理学講座生体調節機能学）特別研究生（現在に至る）  
2007年4月 文教大学大学院教育学研究科教授 他に東京学芸大学などで非常勤講師をつとめた。



### 【大学に於ける専門領域】

運動生理学 温熱生理学 スポーツ科学 体育科教育 ダンス 保健体育教育 研究指導

### 【受賞】

1966年 日本陸上競技連盟 日本記録賞（800m）  
1998年 日本学生陸上競技連合功労賞  
2002年 第5回秩父宮記念スポーツ医・科学賞 奨励賞  
2008年 International Council for Health, Physical Education, Recreation, Sport, and Dance (ICHPER・SD)  
Award GOLD MEDAL OF HONOR  
2010年 ICHPER・SD Biennial Distinguished Scholar Award in Physical Education

### 【学会及び社会的な活動】

#### 主な学会活動

1967年4月 日本体育学会 会員（現在に至る）、1970年4月 日本体力医学会 会員（現在に至る：評議員）、1989年4月 ランニング学会 会員（現在に至る：常任理事・理事）、2001年1月 ICHPER・SD 会員（現在に至る：名誉会員）、2005年4月 ヨーロッパスポーツ心理学会 会員（現在に至る）、1998年4月 日本生気象学会 会員（現在に至る）、2003年4月 日本陸上競技学会 会員（現在に至る：旧理事）、2003年4月 International Conference on Environmental Ergonomics (ICEE) 会員（現在に至る）。

#### 主な社会的活動

1967年4月 日本陸上競技連盟普及委員会・強化委員会・科学委員会委員（2005年まで：研究調査部長、情報副部長）、1985年4月 日本学生陸上競技連合女子委員会委員（2003年3月まで：委員長・理事）、1987年4月 日本オリンピック委員会強化スタッフスポーツコーチ（1996年3月まで）、1989年4月 日本体育協会公認スポーツ指導者講師（2007年3月まで）、1992年4月 東京都スポーツ振興審議会委員（1999年9月まで）、1997年4月 日本オリ

ンピック委員会医科学・情報サポート部員（2004年3月まで）、1999年10月 東京都スポーツ文化財団常任理事（現在に至る）、2003年4月 全日本中学校体育連盟理事（2008年3月まで）、2003年4月 日本オリンピック委員会女性委員会委員（2008年3月まで）、他に埼玉県営サッカースタジアム企画運営委員会副委員長、日本学生陸上連合参与、中央区スポーツ推進委員会副会長など。

全国都道府県対抗女子（NHK：1988－2010）、全国高校女子駅伝（NHK：1989－2005）、大阪国際女子マラソン（ラジオ大阪：1990－現在）、ソウル国際女子駅伝（TBS：1992－2001）等テレビ・ラジオの解説。

## 【主要業績】

### 編著書 共著含む

- 1989年 『マラソントレーニング』 ベースボールマガジン社  
1989年 『女性のスポーツ医学』 中外医学社  
1990年 『実践陸上競技トラック編』 大修館書店  
1992年 『陸上競技指導教本 基礎理論編』 大修館書店  
1992年 『ハッピーアスリートをめざして』 日本陸上競技連盟  
1996年 『ワールドクラスのエリートランナーの妊娠分娩とトレーニング』 臨床スポーツ医学  
1997年 『陸上競技の水分摂取マニュアル～アスリートのための暑さ対策～』 日本陸上競技連盟  
1999年 『やせすぎそれでもあなたは走れますか―摂食障害にならないために―』 日本陸上競技連盟  
2005年 『Environment Ergonomics－The Ergonomics of Human Comfort, Health and Performance in Thermal』 ELSEVIER ERGONOMICS BOOK SERIES 3  
2006年 『女子長距離・マラソンにおける体重コントロールの実際』 臨床スポーツ医学  
他に『保健体育』教科書・指導書 一橋出版、コーチングクリニック ベースボールマガジン社など44件。

### 論文（共著含む）

- 2003年 『Environmental temperature and thermoregulatory responses in children during baseball practice in summer』 Proceeding of the Fourth ICHPER. SD Congress p.79-84  
2004年 『Effect of new false start rule on start reaction time』 Proceedings of 2005 Pre-Olympic congress p.131-132  
2004年 『Comparison of thermoregulatory responses of elementary schoolchildren and junior high school students during baseball practice in summer』 Proceedings of 2004 Pre-Olympic congress p.217-218  
2004年 『Sweat loss and intake in young male long-distance runner』 Proceeding of the 10th ICHPER・SD Europe Congress Sports Nutrition p.1-7  
2005年 『Age-related differences in sweat loss and fluid intake during summer baseball practice』 Environmental Ergonomics XI p.649-652  
2005年 『The Effect on Body Core Temperature of the Change in Peripheral Blood Flow during Lower Body Negative Pressure』 Environmental Ergonomics XI p.353-356  
2007年 『Eating Disorder and Mood States in Female Junior Long-Distance Runners in Japan』 Long papers of 12th European Congress of Sport Psychology p.580-583  
他に ICHPER・SD や ICEE など国際学会 48 編，文教大学教育学部紀要 18 編，陸上競技研究紀要 32 編報告。